



広報
MITAKA City
Information



No.1225 平成14年 2002.1.1
編集 三鷹市企画部広報課

毎月第1・3日曜日発行

発行 三鷹市 〒181-8555 東京都三鷹市野崎1-1-1

市役所代表電話 0422-45-1151

市民相談専用電話 0422-44-6600

市民の声専用FAX 0422-48-2810

くらしのテレフォンガイドみたか(音声・ファクス)

0422-41-1313

ファクスの場合、コード番号099で

コード番号一覧表が出せます。

三鷹市ホームページ

http://www.city.mitaka.tokyo.jp/

特集 3～6面

「みたか観光マップ」

新春号



三鷹の森ジブリ美術館

「となりのトトロ」「もののけ姫」「千と千尋の神隠し」などでおなじみのスタジオジブリを中心としたアニメーション作品を通して、子どもたちに夢を与えることを願って昨年10月オープンした「三鷹の森ジブリ美術館」(宮崎駿監督企画・デザイン)。入口の天井に目を凝らせば、ほうきに乗ったキキとジジ、メーヴェに乗ったナウシカなどたくさんキャラクターが舞っています(写真右)。大好きなキャラクターに会いに、あなたも美術館を訪れてみませんか。

チケット購入方法 チケットは完全予約制です。コンビニエンスストア「ローソン」の端末で入場引換券を購入してください。

閉館時間 午前10時～午後6時。①午前10時・②正午・③午後2時・④午後4時の4つの入場時間があります。入場は、指定時間の30分後まで。

休館日 火曜日と年末年始(12月26日～1月2日)
入場料金 大人・大学生1,000円、高校・中学生700円、小学生400円、幼児(4歳以上)100円

市民のみなさんを対象に、土・日曜日のチケットを一般とは別枠で販売する予定です。くわしくは1月20日発行の「広報みたか」でお知らせします。
⇒企画経営室 ☎内線2113

三鷹の森ジブリ美術館

(三鷹市立アニメーション美術館)

下連雀1 1 83

☎0570 055777

(ご案内ダイヤル)

http://www.ghibli-museum.jp/



「三鷹の森ジブリ美術館」入口ステンドグラスと天井のフレスコ画

明日のまち
子どもたちの未来へ

三鷹市長 安田 養次郎



あけましておめでとう
ごきげんよう。

昨年から続く世界の混沌とした状況や、不安定な社会経済情勢の中で、新しい年を迎えることの意味を改めて深く考えさせられる年の始めとなりました。今、日本を含む世界はさまざまな困難や課題を抱えています。私たちが三鷹というまちを起点にして、これらの課題に向かいあっていくためにはならないのだと感じています。

三鷹市にとって、昨年は新たな活気が芽生えた年でもありました。基本構想・基本計画の策定と、みたか市民プラン21会議の活躍は、協働のまちづくりの実例として全国から注目を集めました。多くの市民がまちづくりに直接関わり、地域のあり方について考えるということは、まちの未来にとって、とても重要なこととです。

また、昨年10月には、待望の「三鷹の森ジブリ美術館」がオープンし、連日、好評を博しています。この美術館は企業と自治体の協力関係の新たな形を創出したものだとも言えるでしょう。今年からは三鷹市民特別枠を設けるなど、さらに地域に愛される美術館をめざしています。宮崎駿監督の世界は多くの人々を魅きつけてやみませんが、特に、美しい壁画やステンドグラス、精巧な展示品など美術館全体が作品であり、その芸術に子どもたちが直接触れることができる幸せは、何にも代え難いものがあります。

残念なことには、現代の日本社会の中で子どもたちが置かれている状況は、決して楽観できるものではありません。今必要とされているのは、未来を担う子どもたちへの支援であり、子どもを育む環境をより良いものにするための、たゆまぬ努力だと思えます。三鷹市では、向こう10年間の施策のガイドラインである第3次基本計画が昨年11月に確定しましたが、その最重点プロジェクトの一つとして、子ども・子育て支援を掲げています。子育てをしている親への支援とともに、子どもの人権の問題や虐待の防止などを図るため、子ども家庭支援センターを設置してさらに具体的に取り組んでいきたいと考えています。

子どもたちの「今」を豊かにすることは、まちの未来に向けた施策だと、私は考えています。子どもたちの豊かな毎日が、時を経て、三鷹の未来を必ずや豊かにしてくれることでしょう。私たちは、地域に、そして地球に住まう大人として、だれもが子どもたちの現在と未来へ関わる責任があるのです。